

いのこしクラブ

平成19年2月号
老人保健施設
いのこし
名古屋市中区
猪3石原1-601

冬季の室内の乾燥し過ぎはカゼのもと

室内の著しい乾燥(相対湿度30%以下)は、気道粘膜の乾燥を生じ、気道の細菌感染予防作用を弱めます。さらに、粉じんが空気中に留まる時間や各種ウイルスの生存時間を延長させ、風邪やその他の呼吸器疾患にかかりやすくなります。

冬季の室内の乾燥し過ぎは悪影響をもたらしますが、必要以上に加湿をするとカビやダニが発生しやすくなりますので、加湿器etc利用する場合、相対湿度50%を目安として下さい。又加湿器の水にカビが発生し病気をもたらすので水の交換はこまめに行いましょう。

風邪は万病のもと 換気不足はビル病のもと

1980年代に入る頃から、欧米各地のいわゆる省エネルギーにおいて、居住者から目まい、吐き気、頭痛、平衡感覚の失調、眼、鼻、のどの痛み、粘膜や皮膚の乾燥感、ゼイゼイする、のどが枯れるetcの呼吸器系の諸症状等の体の不調を訴える苦情が増え、重大な社会問題と捉えられました。

これがいわゆる「ビル病」あるいは「シックビル症候群」と呼ばれる問題で、省エネの為に部屋への導入換気量を極端に減らしたビルで起こり、このようなビルを「シックビル」即ち病気のビルと呼びました。このビル病は上記の様にもっとは省エネのために換気量を減らしたオフィスビルを対象としたものでしたが、換気量削減による空気汚染問題は、何もオフィスビルだけのものではありません。住宅や学校など建物の種類が変わっても同じ様に起こります。尚、我が国の場合は定められたビル管理法という法律が既にあったため、その法律の対象とするビルはもとよりそれ以外の建物においても、その法律の影響のせいから欧米にみられた様な大きな問題は起こりませんが近年、諸症状が現れる方も増えてあります。冬季の室内の暖房の入れすぎ、室内乾燥し過ぎに注意し1時間に5~10分程度窓を開けて換気を行い、空気と上手につきあいでいってね。

2月 お誕生日を迎える人祈る様

2F

伊藤あや子様 95才
野崎重行様 84才
内田キヨミ様 91才
稲葉米造様 85才
蜂須賀シヅ子様 82才
吉田行江様 84才
橋場芳夫様 73才
木下エ子様 94才

3F

五十川志江様 87才
山口マスコ様 97才
加藤きみ子様 93才
天辰ウヰ子様 93才
宇尾日出子様 83才
植原義信様 89才

Happy Birthday

2/7 お誕生日会を行います、皆さん御一緒にお願いします。

2/7 節分

2/21 くらみの会(踊り)

どんな踊りかなあ

お楽しみに!!



迎春日
迎春
迎春日

新入社員紹介



天野小兎子さん

作業療法士です。
笑顔が絶えません。
頑張ってます。
よろしくお願ひします。

西郷嘉基さん

川べりの助手として働く事になりました。現在はこちらで仕事をし、夜は夜間学生として勉強しています。24才です。よろしくお願ひします。

金鈴木絵美さん

1月10日から介護職員として3Fに入りました。静岡県浜松市出身で、実家ではお茶を栽培しています。特技は楽器演奏と百人一首です。



がんばってね